

コード	104010201
記入日	H26.6.3

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	松田 陽一

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	電線等支障樹木伐採事業
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	2
施策コード	104	施策名称	しまを活性化させる情報基盤づくり	項コード	1
基本事業コード	10401	基本事業名称	情報通信網等の整備	目コード	9
事務事業コード	1040102	事務事業名称	離島活性化交付金事業費	細目コード	1377
関連計画	長崎県離島振興計画 離島活性化交付金等事業計画	法令・条例規則等	離島振興法 離島活性化交付金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 電線及び光ケーブル	(対象2)	(対象指標1)	1.0式			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・支障樹木の土地調査等を行い、伐採及び保護管設置を行う。	(平成25年度) ・支障樹木等調査及び伐採（若松地区）	① 調査・伐採	1回	33.3%	実施回数÷ 計画回数	平成27年度
		② 調査・伐採	1回	100%		平成25年度
		(達成率分析)	計画通り実施できた。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・台風等の災害時に支障樹木等により情報網の断絶が起きないようにケーブルの支障樹木伐採必要箇所の調査及び伐採を行い、地域防災力の向上を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 電力や情報網の断絶防止、安定供給	-	-	-	平成27年度
		(達成率分析)	支障樹木伐採等を行うことにより、地域防災力の向上が図られる。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	3	1		1	1	1	1		
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	19,200	4,712		6,400	4,712	6,400	6,400		
直接事業費 A	千円	15,000	3,312		5,000	3,312	5,000	5,000		
人件費 B	千円	4,200	1,400		1,400	1,400	1,400	1,400		
内 従事職員数	人	0.6	0.2		0.2	0.2	0.2	0.2		
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C 国補助金	千円	7,500	1,656		2,500	1,656	2,500	2,500		
の 県補助金	千円									
財 起債	千円									
源 内 其他	千円									
内 一般財源	千円	11,700	3,056		3,900	3,056	3,900	3,900		

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	地域イントラネットは、現在テレビ放送や携帯電話の伝送路などに活用され、地域住民生活に重要な情報網となっているため、本事業は必要である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	支障木伐採等により、地域防災力の向上が図られている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	本事業の性質上、向上させる余地はない。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	地域イントラネット断線の危険箇所が減少された。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理 由	現地調査等を行い、適正な設計に努めた。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	*****平成25年度新規事業*****
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	住民生活の安全・安心の確保と生活環境の利便性を向上させるため、計画どおり事業を進めること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合		
	●	●								
					事業内容を見直して事業を継続					事業の休止
					事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。